

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.107

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「荒れ果てた道を整えて」

保守バプテスト津田沼教会 牧師 森恵一

馴染みのないものに手を出そうとする時に、戸惑いやためらい、違和感を覚えるのはよくあることです。食わず嫌いは我が身を守る防衛本能でもあります。まして、敵対していたはずの相手から呼びかけられた和解の約束は、気軽に受け止めることに難しさを感じたとしても、何も不思議はありません。福音は、キリストが語られたとおり、狭き門であって、罪の中を歩んできた人間たちにとって決してなじみ深いものではありません。神の呼びかけと向き合う時、真剣であればあるほど生じる摩擦は、安易に緩和すべきではないと思います。

けれど、キリストが語られたのは「門は狭い」ということです。門の前に立つまでの過程に障害物を置けとは語られず、門を隠して宝探しをさせろとは言っていません。選り抜かれた精鋭だけが狭き門と向き合える特権を手にするわけではないのです。人々が気づかずに通り過ぎてしまうのであれば、なおさらのこと、ここに門があると語り、関心と呼び覚まし、振り向いてもらう必要がある。もし、この福音には真の価値があると知っているのであれば。

昨今は宗教や様々な思想に関する警戒心が強くなりました。人をだまし、心を破壊する部類のものが多くなったので、そういう心構えも必要です。だとしたら、キリスト教は例外だとのんきに構えているわけにはいきません。少しでも手軽に、身近に、何とかしてこの福音に触れていただく、この門の前に立っていただく。その先に必死になって格闘すべき狭き門があるとしても、少なくとも目の前までは案内したい。

テレビは多くの人にとって実に身近な媒体です。スイッチを入れなければ干渉されることはない、嫌になったらボタン一つで消してしまえばいい。専念しなくても情報を流してくれるし、横を向いて聞いていても失礼には当たらない。リスクは冒したくないけれど関心はある、そんな人にとって、テレビを通して手にする情報は、ちょうど良い手段になるはずです。

私たちは福音の力を信じています。神の約束は必ず人の心を動かすのだと信じています。だから、たとえそこに待っているのが狭き門であったとしても、きっと扉は開かれていくに違いないと期待しています。であればこそ、何とかして多くの人々に福音と向き合う機会を持って欲しい。ライフ・ラインの番組が、多くの人々に見てもらえるようにと、心から願う次第です。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、千葉テレビ「ライフ・ライン」でお楽しみ下さい。